RIKKEN MINSHU 号外
2021.6.1
立憲民主
The Constitutional Democratic Press

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル３F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

東京都議会議員 石毛しげる



1：感染症・地震・火災に強い街

- 正確かつ迅速な情報公開の徹底（誰もが知りたいことを発信する）
- 被災者生活再建支援金を拡充
- 防災行政の機構改革、住宅の耐震化、無電柱化
- コロナワクチンの安定供給と希望者への早期接種

2：誰もが活躍できる社会

- 家庭環境に左右されない全ての子どもの学ぶ権利を守る
- 不登校児童、生徒へのサポート体制の見直し、児童虐待防止の強化
- 男女格差の是正、高齢者・障がい者の生活・就業、非正規雇用者への支援
- 自殺に追い込まれることのない社会づくり

3：平和と暮らしを守る

- 保育士、幼稚園教諭、医療、福祉、介護職員等の職場環境の整備および待遇・給与の改善
- 小中学校の学校給食費無償化、高校授業料無償化を更に拡充
- 生活困窮者への 支援メニューの拡充
- 子ども食堂の拡大、充実と推進（貧困や孤立する子どもたちを救済）

4：豊かな自然環境の創出・保全

- LED、水素、太陽光発電などスマートエネルギー都市の促進
- 水と緑のネットワークの充実
- 生物多様性の保全
- 循環型社会への転換、使い捨てプラスチックの使用抑制、排出削減など企業と一体化した取り組み

石毛しげる都政で実現してきた確かな実績！

●私立高校授業料の無償化
令和２年には更に制度が拡充し、
年収９１０万円未満の世帯で実質無償にしました。

●統合機動部隊発隊
大規模災害現場等で部隊と情報を一元管理する
統合機動部隊をつくり災害時対策の強化をしました。



統合機動部隊発隊
大規模災害現場等で
部隊と情報を
一元管理する
統合機動部隊が発隊

●デイタイム救急隊発隊
２４時間交代制の救急隊に日中だけのシフトを
加えて子育て・介護中の隊員が仕事を
続けられる環境にしました。



デイタイム救急隊発隊
救急要請が多い、
平日の日中の間の運用に
特化した、
デイタイム救急隊が発隊

●高齢者の運転免許自主返納を推進
平成３０年度に比べて令和２年は高齢者の
運転免許自主返納率が約５０％アップしました。

●振り込め詐欺（特殊詐欺）の撲滅
年々悪質となる特殊詐欺対策の強化を図り、
詐欺の発生率を平成３０年度に比べて令和２年は約４５％減少しました。

その他、都民の皆様のたくさんの声をもとに政策実現してきました。
これからも現場の声を大切に、身近なふれあい政治をモットーに皆様の声を届けていきます。

私たちも石毛しげるさんを応援しています。政策協定を締結いたしました。

後藤ゆう子、かとう涼子西東京市議会議員（生活者ネットワーク）

1. 立憲主義に基づいて憲法を活かす
2. 脱原発、省エネ・再生可能エネルギー政策を推進する
3. 女性議員を増やす



西東京市議会議員
後藤ゆう子



西東京市議会議員
かとう涼子

森てるお西東京市議会議員

1. 都立、公社病院の独立行政法人化の撤回
2. 少人数学級の実現と人権教育の推進
3. 住民の意見を踏まえた道路政策の見直し、自然環境の保護



西東京市議会議員
森てるお

納田さおり西東京市議会議員

1. コロナ対策における保健所と地元自治体の連携強化
2. 警視庁における性犯罪被害者対応強化と都のワンストップ支援センター強化
3. 石神井川河川改修率の向上と台風・豪雨災害の対策強化



西東京市議会議員
納田さおり

立憲民主党は西東京市民を全力で支えます。



衆議院議員
末松義規



東京都議会議員
石毛しげる



西東京市議会議員
副議長 森しんいち



西東京市議会議員
佐藤大介

**その他推薦団体：連合東京、連合三多摩、自治労東京
東京都商工政治連盟西東京支部**

石毛しげるプロフィール

昭和 28 年 4 月 19 日 西東京市（旧保谷市）生まれ
フランス国立ストラスブール大学(文学部)
慶應義塾大学（文学部）卒業
法政大学（経済学部）卒業
早稲田大学大学院修士課程修了（現・政治学研究科公共経営）
早稲田大学大学院博士課程修了（現・政治学研究科公共経営）
ホテル・テルミニュス（フランス）勤務
保谷市議会議員（５期）、西東京市議会議員（１期）、
西東京市議会議長、
現在
東京都議会議員（４期）、
（財）東京都交響楽団評議委員、
早稲田大学招聘講師、徳雲寺住職



ホームページはこちらから

東京都議会議員
石毛しげる 事務所
〒188-0014 西東京市芝久保町 3-6-23
E-mail：shigeru@ishige.info ※ご意見、ご要望をお寄せください。（E-mail、または Fax でお願いいたします。）
Tel.042-460-0855 Fax.042-460-0856

石毛しげるの原点「無知の知」

私の夢

私の夢の実現は、アルバイトの積み重ねから始まりました。

「将来の夢は帝国ホテルの村上信夫コック長のようになること」と小学生の頃の文集に書いています。

そこで、フランス料理の本場に行くため、この頃から、夏場は知り合いの八百屋（現在もアスタの地下で営業中）でスイカ売りを手伝い、中学生の頃は、近所のゴルフ練習場（現在も保谷町にある）で手伝っていました。

高校生の頃は、ホテル（神保町にある学士会館）で配膳や電気工事（ＪＲ馬喰町駅でケーブル工事）などをして、渡仏に必要なお金を貯めました。

高校を卒業すると私は憧れのフランスへと旅立ちました。

フランス時代

私が大学、ホテル学校、そして料理人と青春時代を過ごしたストラスブールは、ドイツの国境近くにあるアルザス地方の都市で、現在もＥＵ議会がおかれています。

そんなヨーロッパの政治の中心**ストラスブールの高校生は普通に政治的な会話**をしていました。

彼らは極東から来た私に、日本の政治について様々に興味深く色々と聞いてきました。

しかし、当時の私は彼らの問い**に答える知識も言葉も持っていなかった**のです。

フランスでの自分の無知さが、私を日本の社会や政治へと目を向かせました。**「無知の知」**



フランスにてコックの修業時代に
料理人仲間と撮影した１枚

政治への道

帰国後、私は当初の目標とは違った夢に舵を切り、政治家として新たな歩みを始めたのです。

フランスと日本の違いの中に教育費の問題があげられます。

北欧はもちろんですが、私が通った大学も、ホテル学校も、**授業料が無償**かそれに近いものでした。

それは**学びたい者に門戸が開かれた社会**です。

私は日本でも誰もが教育を受けられることを切に願い、東京都議会議員として**私立高校授業料の無償化**に向けて積極的に動いてきました。

全国に先駆けて東京でスタートし、令和２年には制度がさらに拡充されました。

しかし、これで満足することなく、**大学や短大、専門学校へと制度を広げていくべき**だと考えています。



仲間たちと協力して建てたコンゴ民主共和国の
小学校で授業を行い、そのあと子供達と記念写真。
現在、コンゴ民主共和国キンシャサ大学の大学院に
籍を置き周産期医療を研究している。

私の決意

都議会がある新宿都庁近くの公園には、路上生活を余儀なく迫られた人達がいます。

新型コロナウイルスの影響もあって、食料支援を受ける人が日を追うごとに増えている状況です。

旅行業、観光業、航空業、イベント関係者、協力金では到底維持が難しい大手の飲食店、建設業、非正規雇用者などコロナの影響で強い経済打撃を受けた方の数は計り知れません。

私が教鞭を執る大学でも、アルバイトがなくなり学費や生活費を工面できないという相談が後を経たず、中には親も辛い退学という選択をせざるを得ず学舎を去る学生もいます。

また、経済面だけでなく、学校行事の中止や部活動の停止など我慢が続く子どもたちのケアも必要です。

今、日本は大きな危機に直面しています。

コロナ禍でより広がった格差は、終息後さらに拡大することでしょう。

自分の力だけでは這い上がれない現状を政治が助け、支えていく仕組みが絶対に必要です。

たとえば、**医療提供体制等**の確保と保健所の取組み強化。

また、**新型コロナウイルスの影響を受けた事業者**に対する多面的な支援の展開。

経済・生活面など様々な影響を受けた人への支援・セーフティーネットの強化。

一人ひとりの**「働く・学ぶ・地域活動」**を応援するなど。

こうした施策を具現化することによって**一人ひとりが夢を抱き幸せを実感できる、あらゆる可能性に挑戦できる社会**を築くためにこれからも私の経験と情熱を都政に全力で注ぎます。



左
ブルキナファソ
駐日大使
Pascal BATJOBO

中央
ブルキナファソ
外務大臣
Alpha BARRY

ブルキナファソ政府から国家功労賞
ブルキナファソの人々の生活改善に少しでも貢献できるようにと地道に続けていた活動が評価され国家功労賞シェヴァリエをいただく。